

# 会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	10月19日(木) ～20日(金)	第14回海岸工学講演会	横 浜 市	10号6 ページ参照
	10月25日(水) ～26日(木)	第9回地震工学研究発表会	土 木 学 会	10号6 ”
	11月21日(火) ～22日(水)	第2回土木計画学シンポジウム	東 京	10号5 ”
	11月21日(火) ～22日(水)	秋のエキスカーション	静 岡 県	10号6 ”
北海道支部	10月20日(金)	秋季見学会	北 海 道	9号8 ”
東北支部	11月10日(金)	支部設立30周年記念式典および記念講演会	仙 台 市	10号8 ”
関 東 支 部	10月17日(火) ～18日(水)	新しい測定技術講習会	日本化学会	9号9 ”
	10月24日(火)	京浜地区工事見学会	神 奈 川 県	9号10 ”
	11月7日(火) ～8日(水)	近代的管理手法の活用講習会	東 京	10号8 ”
	12月5日(火)	「首都圏の開発」講演会	土 木 学 会	10号9 ”
中 部 支 部	10月17日(火)	軟弱地盤における工事実施例講習会	名 古 屋 市	9号11 ”
	11月11日(土)	42年度中部支部研究発表会	長 野 市	10号9 ”
関 西 支 部	10月27日(金)	第3回見学会	福 井 県 外	9号12 ”
	10月21日(土)	} 第1回学生見学会	京 都 府	9号13 ”
	10月28日(土)			
	11月7日(火)	兵庫地方講演会	兵 庫 県	10号14 ”
	11月12日(日)	年次学術講演会	京 都 市	10号11 ”
	11月14日(火)	コンクリート工事用樹脂に関する講習会	大 阪 市	10号17 ”
	11月30日(木)	第2回学生見学会	兵 庫 県	10号16 ”
	12月5日(火)	若い会員懇親パーティ	大 阪 市	10号16 ”
12月5日(火) ～6日(水)	写真測量とその応用に関する講習会	大 阪 市	10号15 ”	
中 国 四 国 支 部	11月21日(火)	年次学術講演会		10号17 ”
	11月22日(水)	支 部 総 会		10号17 ”
	11月22日(水)	特別講演会		10号17 ”
そ の 他	10月19日(木) ～20日(金)	第17回応用力学連合講演会	東 京	7号5 ”
	10月23日(月) ～24日(火)	第4回災害科学総合シンポジウム	仙 台 市	7号6 ”
	11月28日(火) ～29日(水)	第2回岩の力学国内シンポジウム	東 京	9号5 ”
	11月29日(火)	第8回構造の軽量化に関するシンポジウム	同	7号4 ”
	11月29日(火)	コンクリートパイル基礎講習会	福 岡 市	10号7 ”
	12月1日(金)	薄板構造および立体構造に関する研究発表会	東 京	7号9 ”
お知らせ	■42年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集 ■第12回水理講演会講演募集 ■国際会議のお知らせ			10号2 ” 10号6 ” 10号18 ”

## 昭和 42 年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集

昭和 42 年 10 月

社団法人 土 木 学 会

本年度土木学会賞候補の募集ならびに吉田研究奨励金候補の募集をいたします。表彰規程および下記募集要項をご参照のうえふるって推薦または応募されますようお願いいたします。ただし、土木学会賞のうちの功績賞については公募いたしません。

### ◎土木学会賞候補募集要項

項目 種別	技 術 賞	論 文 賞	吉 田 賞	田 中 賞
候 補 対 象	土木專業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなした個別的な総合的業績、もしくは一部の業績	(論文賞) 土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ、顕著な貢献をなしたもの。 (論文奨励賞) 土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むもので受賞者の年齢が原則として受賞時(43年5月末日)に満36才未満であるもの。	コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する優秀な研究、工事等を行なったものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリートに関する学協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計、施工、考案などの報告、またはそれらの要旨が登載されたものの中から選ばれる。	(論文) 橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究成果を対象とし、公刊されたものの中から選ばれる。 (作品) 橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有する物を対象とし、つぎの各グループについて選考する。 (1) 長大橋梁 (2) 中小橋梁 (3) その他特殊橋梁および橋梁に関連するもの。
受賞候補者	個人または団体	本会会員に限る。 過去の土木賞受賞者は既受賞者として、重ねて同一の賞の候補者となることはできない。共著者(共同研究者)の中に非会員、既受賞者、その他受賞候補者になることができないものが含まれていることはさしつかえないが、受賞候補者に加えることはできない。	日本に国籍を有する個人または研究グループ。ただし、原則としてすでに吉田賞を授与されたものを除く。	(論文) 個人またはその複数 (作品) 作品自身を対象とするもので受賞候補者はない。
候補の範囲	昭和41年1月1日から昭和42年12月31日までの間にできた業績であって日本国内において実施されたものに限る。	昭和41年1月1日から昭和42年12月31日までの間に発表されたもので、土木学会誌、論文集、その他土木学会の刊行物に登載されたもの、他、他学・協会・大学・官公庁・会社などの刊行物に登載されたものなど、内容審査に必要な資料の揃っているものに限る。		(論文) 論文賞、吉田賞に同じ。 (作品) 昭和41年1月1日から昭和42年12月31日までの間に完成した橋梁およびそれに関連する構造物で、日本人により計画設計あるいは施工されたものに限る。
推薦(応募)の方法	推薦者は会員、支部、土木專業に関連する学・協会法人とする。推薦者は別の定める推薦書、候補業績の要旨各1部を提出する。当該業績に関する参考資料を添付することを妨げない。	推薦者は会員、支部その他一般とするが会員目からの応募であってもよい。推薦者は別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文集以外に発表されている場合は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料6部と別に定める様式による候補論文要旨1部を提出しなければならない。	推薦者は会員、支部、その他一般とする。推薦者は別に定める様式による推薦書1部を提出する。土木学会誌、論文集以外に発表された候補論文は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料30部を提出しなければならない。	(論文) 推薦者は会員、支部、その他一般とする。推薦者は別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文集以外に発表されている場合は、推薦書に添えて審査に必要な資料20部を提出しなければならない。 (作品) 推薦者は会員、支部、その他一般とする。推薦者は別に定める推薦書1部を提出する。
(推薦書および関係用紙は土木学会本部または各支部に準備してありますから必ずその用紙を使用して下さい)				
審査	表彰委員会において行う。ただし、審査の途上において推薦者またはその代理人に出席を求め説明をうけることがある。	論文賞選考委員会において行う。なお、必要あるときはさらに資料30部の追加提出を求められることがある。	吉田賞選考委員会において行う。	田中賞選考委員会において行う。なお、必要あるときはさらに関係資料の提出を求められることがある。
表彰	第54回通常総会において行い、賞状、賞牌を贈る。	第54回通常総会において行い、賞牌、賞状、賞金を贈る。	第54回通常総会において行い、賞牌、賞状、賞金を贈る。	第54回通常総会において表彰する。
締切期日	昭和 43 年 1 月 20 日			
提出先	東京都新宿区四谷1丁目 土木学会表彰委員会	土木学会論文賞選考委員会	土木学会吉田賞選考委員会	土木学会田中賞選考委員会

土木学会表彰規程

(総 則)

第1条 土木学会第34条による表彰はこの規程による。

(賞の種類)

第2条 表彰は次の土木学会賞(総称)を授与して行う。

1. 功績賞
2. 技術賞
3. 論文賞
4. 吉田賞
5. 田中賞

(功績賞)

第3条 功績賞は土木学会の会員であって、土木工学の進歩、土木事業の発達、土木学会の運営に顕著な貢献をなしたと認められたものに授与する。

(技術賞)

第4条 技術賞は土木事業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなしたと認められた画期的な業績に授与する。

(論文賞)

第5条 論文賞は本会会員であって、土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ、顕著な貢献をなしたと認められたものに授与する。

- (2) 論文奨励賞は本会会員であって、土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術に関する進歩発展に寄与し、独走性と将来性に富むものと認められ、受賞者の年齢が原則として受賞時に満36才未満であるものに授与する。

(吉田賞)

第6条 吉田賞はコンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれに関連する優秀な研究、工事等を行ったと認められるものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリートおよび鉄筋コンクリートに関する学・協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計、施工、考案等の報告またはそれらの要旨が掲載されたものの中から選ばれる。

(田中賞)

第7条 田中賞は次の論文ならびに作品に授与する。

(1) 論文

橋梁およびその他の構造物に関する優秀な研究成果を対象とし、公刊されたものの中から選ばれる。

(2) 作品

橋梁およびそれに関連する構造物で、計画、設計、施工、美観などの面においてすぐれた特色を有すと認められる物を対象とし、長大橋梁、中小橋梁、その他特殊橋梁および橋梁に関連あるもののグループ別に選ばれる。

(委員会)

第8条 土木学会賞を審議決定するため次の委員会をおく。

1. 表彰委員会
2. 論文賞選考委員会
3. 吉田賞選考委員会
4. 田中賞選考委員会

- (2) 表彰委員会は功績賞および技術賞の受賞候補の選考をなし、論文賞、吉田賞および田中賞選考委員会の具申を受けて、必要に応じて各賞間の調整を行い、土木学会賞受賞候補を決定する。

- (3) 論文賞選考委員会は論文賞候補の選考を行う。

- (4) 吉田賞選考委員会は吉田賞候補の選考を行う。

- (5) 田中賞選考委員会は田中賞候補の選考を行う。

- (6) 前記各委員会の構成、運営その他については別に内規で定める。

(表彰の時期、方法)

第9条 表彰は原則として毎年1回通常総会において賞牌、賞状等を授与して行う。

◎吉田研究奨励金候補者の募集

1. 候補対象

コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する研究に従事するもので、特に独創性と将来性に富むと認められたもの。ただし、授与されるものが昭和7年6月1日以降出生のものに限り、かつ、原則として、同一研究計画に対してすでに吉田研究奨励金を授与されたものを除く。

2. 募集の題目

次の要望課題に加え自由課題についても募集する。

(1) 要望課題

- ① 鉄筋コンクリート部材の極限設計に関する研究
- ② 高張力異形鉄筋の有効な使用方法に関する研究
- ③ 軽量コンクリートに関する研究
- ④ 砕石コンクリートに関する研究

(2) 自由課題

3. 募集の方法

日本に国籍を有する個人または研究グループ

4. 研究成果の報告

研究成果は文書により吉田賞選考委員会に提出するほか、昭和44年10月中旬施行の第24回年次学術講演会において吉田研究奨励金を授与された研究であることを明らかにして発表しなければならない。

5. 応募の方法

一定の様式による研究計画書1部を提出する。

(計画書の用紙は土木学会本部および各支部に準備してありますから、必ずその用紙を使用して下さい)

6. 審査

吉田賞選考委員会において行う。

7. 締切期日

昭和43年1月20日

8. 提出先

東京都新宿区四谷1丁目 土木学会吉田賞委員会

◎昨年度の土木学会賞受賞者(敬称略)

功績賞	田淵 寿郎	土木工学ならびに土木事業の進展
	青木 楠男	同
技術賞	日本道路公団	名神高速道路の建設
論文賞	小松 定夫	曲線桁橋の自由振動に関する研究(英文)
	中井 博	
論文奨励賞	佐藤 吉彦	乗心地の立場からみた軌道高低狂いの整備限度
	首藤 伸夫	長波の打上高
	柴田 徹	Flow and Stress Relaxation of Clays
吉田賞	丸安 隆和	高炉セメントコンクリートの研究
	小阪 本好史	
	松本 嘉司	鉄道橋としての鉄筋コンクリート斜角けたの設計に関する研究
田中賞	平井 敦功	On the Behaviour of Suspension Bridges under Wind Action
	岡内 利雄	
	宮田 利雄	
	天門 橋	(天草五橋の内)
	目黒 跨道橋	(首都高速2号線)

## 第2回土木計画学シンポジウム

◀ 11月21日(火)～22日(水) ▶

土木学会土木計画学研究委員会は、本年1月に第1回シンポジウムを開催、多数の参加者を得て非常に好評を得ました。本委員会は、当初から年に2～3回のシンポジウムを開催する予定であり、第1回シンポジウム参加者もまた、さらに何回かのシンポジウムを継続して問題点の追求を深めることを強く要望しています。

ここに、第2回土木計画学シンポジウムを下記要領により開催し、土木計画のあり方と理念について、ともに考えることとしました。

第1回のシンポジウムは全く最初の試みでもあったし、土木計画学の範囲と考えられる分野を、いわば浅く広くとらえようとしていました。したがって、各テーマについては突込みが不十分であったことは否めません。

第2回以後は、徐々に問題点を深く追究したいと考えています。しかし、本委員会としては土木計画に含まれる個々のテーマの追求よりは、むしろ総括的に捉えようとしています。

そこで今回は、水資源計画、交通計画、都市計画、地域計画を例にとり、それぞれに共通すると思われる計画上の基礎概念を、土木計画学としての共通の場で検討しようとしてみました。

第2回シンポジウムにおいては具体的には(1) 需要予測と計画目標設定の問題 (2) 計画決定に際し、合目的性を追求するための評価基準の問題を考えてみたいと思います。

会員諸氏が、前回と同様ふるって参加されるようご案内いたします。

本委員会としては、今後も引き続きシンポジウムを続け、また計画学に関連する講習会などを開くことも検討中です。

(1) 期 日：11月21日(火)、22日(水)の両日

(2) 会 場：銀座ガスホール(東京都中央区銀座7-1・電話 571-4873)

(3) 参加費：1500円(会員外 2000円)但し、前金を原則とする。

(4) 申込方法：下記用紙に必要事項をご記入のうえ、10月31日(火)までに土木学会事務局編集課宛参加費を添えて現金書留便で申込んで下さい。

(5) 日 程：11月21日(火)

開会あいさつ	9:30～9:40	土木計画学委員会委員長 鈴木雅次
第I部 水資源計画	9:40～12:00	
		<司会> 東京大学助教授 高橋 裕
		水資源開発公団計画部計画課長 佐々木 和彦/建設省河川局河川計画課長補佐 北野 章
第II部 交通計画	13:00～17:00	
		<司会> 北海道大学教授 小川博三
		日本国有鉄道監察委員 立花文勝/日本道路公団東京支社工務部長 星野哲三
		京都大学教授 長尾 義三/東京大学助教授 新谷洋二/岐阜大学教授 加藤 晃

11月22日(水)

第III部 都市計画・地域計画	9:30～12:00	
		<司会> 東京大学教授 井上 孝
		名古屋大学教授 毛利正光/経済企画庁総合計画局 大塚友則/建設省都市局街路課課長補佐 渡部 与四郎
第IV部 土木計画の目的に関する総括討論	13:00～14:30	
		<司会> 東京大学教授 八十島 義之助
		東京大学助教授 高橋 裕/北海道大学教授 小川博三/東京大学教授 井上 孝/京都大学教授 米谷 栄二
第V部 総括討論のまとめ	14:30～14:50	京都大学教授 米谷 栄二
閉会のあいさつ	14:50～15:00	土木計画学研究委員会委員 石原 藤次郎

.....(切 取 線).....

第2回土木計画学シンポジウムに参加するので、参加費を添えて申込みます。

住 所			
氏 名		電 話	勤務先 自 宅
役 職 名			
備 考	1. 官費 2. 社費 3. 私費	1. 会員	2. 会員外

昭和42年 月 日

土木学会 御中

## 第12回水理講演会講演募集

第12回水理講演会を下記により開催いたします。今回の課題は下記の通りですが、講演ご希望の方はふるってご応募下さいませようご案内申し上げます。(なお、1969年度のI.A.H.R(国際水理学会)について提出される予定の日本案は(A) Simulation Technics in Water Resources Engineering, (B) Multi-phase Flows, (C) Estuary Hydrodynamics, (D) River Geomorphologyの4つです)

1. 期 日: 1968年2月9日(金)~10日(土)
  2. 会 場: 発明会館(東京都港区芝西久保明舟町17番地, 地下鉄虎ノ門下車徒歩3分)
  3. 課 題: 1. 河口の水理現象
    - i) 河口における熱およびその他の物質の拡散
    - ii) 成層密度流
    - iii) 水流を伴う波の問題
 2. 河口形態論
    - i) 長期にわたる河川の変形
    - ii) 流れと水路間の力学的相互作用(移動床を含む)
 3. その他
  4. 申込み方法その他: 10月30日までに講演題目, 講演者氏名(連名の場合は講演者に○印をつける), 勤務先を明記し, 土木学会水理委員会宛お申し込み下さい。  
 なお, 講演の採否は水理委員会にご一任下さい。また, 採用決定のうちは改めて講演原稿の提出方をお願いいたします。
  5. 講演原稿締切: 12月5日(厳守)
- ◎ 2月10日の講演終了後, ひきつづいて水文学に関するシンポジウムを行なう予定です。題目についてはおってお知らせいたします。

## 第9回地震工学研究発表会

◀ 10月25日(水)~26日(木) ▶

標記研究発表会を下記により開催いたしますからご参加下さいませようご案内申し上げます。なお, 今回は下記テーマによりパネル討論を行ないますのでふるってご参加下さい。

1. 期 日: 1967年10月25日(水), 26日(木)の2日間
2. 会 場: 土木学会図書館講堂
3. プログラム: 本誌52巻9号4ページ参照。
4. 講演概要: B5判, オフセット印刷約120ページ, 実費頒布(定価未定)
5. 懇 親 会: 第1日(10月24日)の発表会終了後下記により懇親会を開催いたしますので, ご希望の方は当日会場受付にお申込み下さい。  
 日 時: 10月25日(水) 18.00から  
 会 場: 土木学会会議室  
 会 費: 500円(当日受付けます)

## 東名高速道路見学会—秋のエキスカッション—

◀ 11月21日(火)~22日(水) ▶

関東支部と共催で, 秋のエキスカッションとして, 工事最高潮の東名高速道路の見学を行ないます。絶好の機会ですから, ふるってご参加下さい。

1. 定 員: 50名
2. 参加費: 4000円(日程内の一切を含む)
3. 日 程: 11月21日(火) 8.30 土木学会集合—多摩川橋—厚木インターチェンジ—酒匂川橋梁—富士川サービスエリア—三保の松原(三保園ホテル) 宿泊  
 11月22日(水) 三保の松原—日本平—日本坂トンネル—袋井工区—浜名湖大橋—新幹線浜松駅前解散 16.40
4. 申 込 み: 11月10日(金)までに参加費を添えて, 土木学会総務課までお申込み下さい。

## 第2回岩の力学国内シンポジウム(1967)開催

岩の力学国内シンポジウムは、1964年に第1回を開催し、所期の成果をあげることができましたが、前回に引続き第2回シンポジウムを下記により開催し、国内の岩盤力学研究者、技術者の研鑽と交流および研究情報交換とあわせて相互の親睦をはかることになりました。

つきましては、会員各位には下記要領により、ふるってご参加下さいますようご案内いたします。

共催：土質工学会・日本鉱業会・日本材料学会・土木学会

1. 期 日：1967年11月28日(火)、29日(水)の2日間

2. 会 場：大和証券ホール(東京都千代田区大手町2の8 大和証券ビル8階)  
国電東京駅八重州北口下車徒歩3分、都電呉服橋停留所前

3. 定 員：350名

4. 参 加 費：2000円(講演集代を含む)

5. プログラム：本誌52巻9号5~6号ページ参照。

6. 参加申込要領：

(1) 申込期限：10月31日

(2) 大 き さ：B5以下適宜用紙に「第2回岩の力学国内シンポジウム(1967)参加申込」と必らず明記し、参加者氏名、勤務先、連絡先、所属学会を記載し、参加費(現金または為替)をそえて、土木学会(幹事学会)にお申込み下さい。

(3) 申 込 先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会内 岩の力学シンポジウム係

(4) お申込み入金のある次第、参加券および講演集引換券をお送りいたします。なお、原則として参加申込みの取消しがあっても参加費の払いもどしはいたしませんのでご了承下さい。

(5) 締切期日前でも定員になり次第申込みを締切りますからなるべく早目にお申込み下さい。

7. 懇 親 会：会期中下記により懇親会を開催いたしますから、参加ご希望の方は、会費を添えてシンポジウム参加申込みと同時に申込み下さい。ただし、申込み順に受付満員になり次第締切ります。

(1) 日 時：11月28日(火) 18.00~20.00

(2) 会 場：土木学会会議室

(3) 会 費：1000円

(4) 定 員：50名

## コンクリートパイル基礎講習会

◀ 11月29日(水) 10.00~ ▶

1. 主 催：コンクリートポール・パイル協会

2. 協 賛：建設省・土木学会・日本建築学会・土質工学会・日本材料学会・日本道路協会・全国建設業協会

3. 開 催 日：1967年11月29日(水) 10.00~15.30

4. 会 場：福岡市 天神ビル大ホール

5. 聴 講 料：無料(ただしコンクリートパイルハンドブックを参考書として使用 1冊2500円)

6. 定 員：500名

7. 申し込み先：コンクリートポール・パイル協会宛(東京都中央区銀座4-5 三福ビル7階)

## 北海道支部行事案内(札幌市南1条西2丁目 勸銀ビル5階・電話 札幌 25-7038)

### 研究発表会 論文・報文・募集

北海道支部年次研究発表会(2月下旬)に発表の論文または報文をつぎの要領で募集いたします。

1. 発 表：北海道支部刊行の「研究発表論文集」第24号に本印刷掲載

2. 内 容：土木技術論文・工事報告文

3. 応募方法：応募者は、発表題名・所属・氏名を支部事務局へ口頭・電話・郵便でお申込みのこと。ただちに原稿執筆要領・所定の原稿用紙を送付する。

4. 原稿締切：11月下旬

5. 支部奨励賞：選考のうえすぐれたものには、支部奨励賞として賞金1万円・賞状・メダルを贈り支部総会で表彰する。

**東北支部行事案内**(仙台市北3番丁124 建設省東北地方建設局企画室内・電話 仙台 25—2171)

**支部設立 30 周年記念式典および記念講演会**

◀ 11 月 10 日 (金) ▶

東北支部は設立 30 周年を迎えましたので、下記のような記念行事を仙台市において行ないます。ふるってご参加下さい。

1. 期 日：1967 年 11 月 10 日 (金)
2. 場 所：宮城県民会館 6 階第 2 会議室 (仙台市定禅寺通櫓丁 48)
3. 行事次第：
 

① 記念式典	10.30~12.00	支部長式辞/来賓祝詞/感謝状および表彰状贈呈	
② 記念講演	13.00~14.00	学 会 と 私	土木学会副会長・東京大学教授 最上 武雄
	14.00~15.00	地域開発と計画の科学	前経済企画庁総合防発局長 加納 治郎
	15.00~16.00	映画——東北における建設工事——	
	16.00~17.00	(仮題) 建設と人間	吉村 昭(作家)

**関東支部行事案内**(東京都新宿区四谷1丁目 土木学会総務課内・電話 東京 351—4133)

**(1) 近代的管理手法の活用—建設工事の合理化について—講習会**

◀ 11 月 7 日 (火)~8 日 (水) ▶

近年ネットワーク手法が官民を問わず各分野において、研究され、その活用によって、現場における計画管理が飛躍的に合理化しつつあります。関東支部は、昨年この問題を取りあげて講習会を開催して好評を博しましたが、今年もネットワーク手法の基本理論とその応用を強化する考え方を中心とした講習会を開催いたします。ふるってご参加下さい。

1. 期 日：1967 年 11 月 7 日 (火), 8 日 (水) の 2 日間
2. 場 所：大和証券ホール (東京都中央区八重洲 1—2—4 電話 231—0423)
3. 定 員：400 名
4. 参 加 費：1500 円 (テキスト代を含む)
5. プログラム：
 

第 1 日 (11 月 7 日)		
9.50~10.00	あ い さ つ	土木学会関東支部長
10.00~12.00 (1)	ネットワーク手法の基本理論と実施上の問題点	大成建設 加藤 昭吉
13.00~15.00 (2)	原価管理 (PERT/COST)	藤田 組 野木 貞夫
15.10~16.30 (3)	人員・機械計画	鹿島建設 平田 義則
第 2 日 (11 月 8 日)		
9.30~10.30 (4)	ケーススタディ	佐藤工業 宮田 弘之介
10.40~11.40 (5)	今後の展望	三菱重工業 鴨 打 幹人
6. 申込方法：後記行事参加申込方法参照。

**(2) 東名高速道路見学会—秋のエキスカージョン—**

◀ 11 月 21 日 (火)~22 日 (水) ▶

本部と共催、本部会告をご覧ください。(本誌 6 ページ)

**(行事参加申し込み方法)**

1. 適宜の用紙に、行事の名称、参加者の氏名と勤務先、参加券・領収書の送り先を明記して下さい。
2. 参加費を 1. と一緒にお送り下さい。(現金書留が便利です)
3. 送り先：東京都新宿区四谷 1 丁目土木学会関東支部
4. 各行事とも満員になり次第締切りますから、早くお申し込み下さい。



(3) 「首都圏の開発」講演会

◀ 12月5日(火) 9.30~17.00 ▶

既成大都市地域特に東京を中心とする関東内陸部への著しい経済集積は、過去の社会資本充実の立ち遅れに基づく過密化と都市機能の低下を一段と深める結果となり、地方において人口の流出と産業活動の停滞する地域をもたらして、地域格差の拡大に伴う弊害もまた増大の一途をたどっている。

本講演会は、これらの問題に対する広域計画としての首都圏構想、ならびに道路網、鉄道網および水資源開発に関する計画のビジョンを明らかにし、今後の方向づけを行なおうとするものである。

興味のある方々はどなたでも、ふるってご参加下さい。

1. 日 時：1967年12月5日(火) 9.30~17.00

2. 場 所：土木学会土木図書館講堂

3. 定 員：150名

4. 参加費：無料

5. プログラム：

- 9.30~10.50 ① 首都圏の開発構想について
- 11.00~12.20 ② 主要道路網計画について
- 13.20~14.40 ③ 鉄道網計画について
- 14.50~16.10 ④ 水資源開発計画について
- 16.20~17.00 ⑤ 映画(題未定)

- 東京大学教授 八十島 義之助
- 建設省道路局企画課道路経済調査室長 井上 孝
- 国鉄建設局停車場第二課長 富井 義郎
- 建設省河川局河川計画課長 望月 邦夫

6. 申込方法：往復はがきで申し込み下さい。返信用はがきを参加券としてお送りいたします。満員になり次第締切りますから、早目にお申し込み下さい。

中部支部行事案内 (名古屋市東区東新町 10 番地の1  
中部電力(株)水力部内 電 名古屋 951-8211)

昭和 42 年度中部支部研究発表会

◀ 11月11日(土) ▶

1. 定 員：200名

2. 場 所：信州大学工学部 土木工学科教室(長野電鉄バス長野駅前発 保科行に乗り、信州大学工学部前下車)

3. 参加費：無料

4. 申込み：10月21日(月)までに中部支部に勤務場所、氏名をご連絡ください。

5. 研究発表会プログラム：

開 会 あ い さ つ

支部長 渡 部 時 也

第1会 「応用力学・構造力学・橋梁」部門

- 1-1 9:15~9:30 演算子法による変形法の考察 信州大学工学部 ○吉沢孝和・谷本勉之助
  - 1-2 9:30~9:45 テーパーのついたアーチの振動解析 名古屋工業大学 ○桜井孝昌・松浦 聖
  - 1-3 9:45~10:00 軸方向荷重をうける塔柱の横振動について 名古屋工業大学 荒井利一郎・岐阜高専 ○鎌田相互
  - 1-4 10:00~10:15 下黒部橋(トラスドラングアーチ)の載荷実験について 金沢大学工学部 ○小堀為雄・富山県土木部 安原宗光・増山拓之
  - 1-5 10:15~10:30 移動荷重による弾塑性ばりの動的応答に関する研究 金沢大学工学部 喜内 敏・小堀為雄・吉田 博・○松田 誠
  - 1-6 10:30~10:45 プレフレックスはりの載荷実験について 金沢大学工学部 ○構造力学研究室・橋施工研究室・川田工業(株)研究室
  - 1-7 10:45~11:00 東名高速道路小牧高架橋セミプレハブ方式の橋脚について 道路公団名古屋建設局 山 根 巖
  - 1-8 11:00~11:15 還元法による斜張橋の解析に関する研究 名古屋大学工学部 ○長谷川紀夫・成岡昌夫
  - 1-9 11:15~11:30 風化による岩盤斜面の応力、変形の変化について 名古屋大学工学部 ○藤田益夫・川本眺方
  - 1-10 11:30~11:45 鋼薄肉箱桁のせんだんについて 名古屋大学工学部 島田静雄・水野一男・○池村雅司
  - 1-11 11:45~12:00 連続合成桁橋の応力測定 名古屋大学工学部 島田静雄・北村慶雄・○宮下 力
  - 13:00~14:00 特別講演「長野県における崩れ地に関する研究」 信州大学理学部 杉 山 隆 二
  - 1-12 14:00~14:15 Ripple Web Girder について 名古屋大学工学部 島田静雄・山本邦夫・○渡辺和綱
  - 1-13 14:15~14:30 はりの横座屈強度 名古屋大学工学部 福本啓士・○大岩 清・田中信夫
  - 1-14 14:30~14:45 湾曲材の極限強度 名古屋大学工学部 福本啓士・○伊藤 満
  - 1-15 14:45~15:00 新型ジベル合成桁について 名古屋大学工学部 菊地洋一・○鈴木悦男・近畿日本鉄道(株) 河合昌昌
  - 1-16 15:00~15:15 光弾性による箱桁の応力解析 中部工業大学 ○塩見弘幸・緒城朝恭
  - 15:15~15:30 休 憩
  - 1-17 15:30~15:45 斜交格子の崩壊荷重 信州大学工学部 ○山 崎 英 樹
  - 1-18 15:45~16:00 演算子法によるラーメンの振動解析 信州大学工学部 ○夏目正太郎・谷本勉之助
  - 1-19 16:00~16:15 偏心圧縮柱の強度におよぼすひずみ硬化の影響 信州大学工学部 ○草間孝志・名古屋大学工学部 福本啓士
  - 1-20 16:15~16:30 松代地震による堤体震動 建設省北陸地建千曲川川工事事務所 ○須山 洋・柿本三郎
- 閉 会 あ い さ つ 幹事長 奥 村 徳太郎

第2会場 「水理学・水文学・河川・港湾・海岸等」部門および「土質力学・基礎工学・土木機械・施工等」部門

- 2-1 9:15~9:30 中部地区の水資源開発計画について 中部地方建設局 片岡勲二郎  
 2-2 9:30~9:45 地入り地における地下水機構についての一考察 長野県土木部 松林正義  
 2-3 9:45~10:00 融雪出水に関する一考察 金沢大学工学部 西田義親・高瀬信忠・山本忠勝  
 2-4 10:00~10:15 揖斐川上流部の洪水解析 名古屋大学工学部 西畑勇夫・加藤敏治  
 2-5 10:15~10:30 電子計算機による不定流計算 名古屋大学工学部 足立昭平・伊藤紘慶・中川金爾  
 2-6 10:30~10:45 球状粗度に関する実験的研究 名古屋大学工学部 足立昭平・伊藤紘慶  
 2-7 10:45~11:00 内水流出解析 名古屋大学工学部 西畑勇夫・鈴木正勝  
 2-8 11:00~11:15 外水変動と堤体の吸出現象に関する一考察 名古屋大学工学部 西畑勇夫・藤田親  
 2-9 11:15~11:30 橋脚周囲の洗掘とその防止工法に関する実験的研究 中部工業大学 高田 彰  
 2-10 11:30~11:45 下新川(富山県)海岸の消波堤に関する実験的研究 中部工業大学 ○高田 彰・井口 明  
 2-11 11:45~12:00 鉛直軸を有する平板の流体中の安定角度と動水圧について 中部工業大学 ○高田 彰・愛知五男  
 (13:00~14:00 第1会場にて特別講演)  
 2-12 14:00~14:15 流域の地形学的特性について 岐阜大学 増田重臣・木村 弘  
 2-13 14:15~14:30 振動中の土砂の塑性平衡時の確認 名古屋大学工学部 市原松平・松沢 宏  
 2-14 14:30~14:45 振動中の土砂の塑性平衡時における土圧の性質 名古屋大学工学部 市原松平・山田 功・飯田正幸  
 2-15 14:45~15:00 偏心傾斜した与持力の考察 名古屋大学工学部 市原松平・福田勇治・(株)鴻池組 伊藤克彦  
 15:00~15:15 休 憩  
 2-16 15:15~15:30 名古屋地盤の基礎工学的考察 名古屋大学工学部 植下 協・林 茂昭 (株)興村組 鈴木久澄  
 2-17 15:30~15:45 星岡橋軟弱地盤改良工事報告(パイプロコンポーザー施工による粘性土のリモールドの影響とその回復状況) 名古屋土木局 黒川 昭二  
 2-18 15:45~16:00 ケミコパイルによる東海道新幹線路盤改良工事 小野田セメント(株)名古屋支店 佐藤九二一・加藤泰典  
 2-19 16:00~16:15 富士火力発電所の冷却水管の埋設について 北陸電力土木部 ○樋口悦夫・金岩 明・井沢政則  
 2-20 16:15~16:30 水圧鉄管取替工事における二重管工法の採用 東京電力松本電力所○田村滋美・小坂澄夫  
 2-21 16:30~16:45 地山に応力を分担させる水圧鉄管を設計するための現地実験 関西電力木曾発電所建設所 杉山光郎・松岡元一  
 閉 会 あ い さ つ (第1会場)

第3会場 「鉄道・道路・コンクリートおよび鉄筋コンクリート・土木材料・都市計画」部門

- 3-1 9:15~9:30 各種型枠を用いた場合のコンクリート性状におよぼす影響について 名古屋工業大学 ○金岡 稔・吉田弥智  
 3-2 9:30~9:45 玉石混入コンクリート供試体の強度実験 岐阜高専 ○菅野 一・桜井輝雄  
 3-3 9:45~10:00 軽量コンクリートの乾燥収縮について 金沢大学工学部 柳村重正・川村清紀・夏川亨介  
 3-4 10:00~10:15 軽量コンクリートのPC桁の疲労試験 名古屋大学工学部 ○沢野邦彦・成岡昌夫  
 3-5 10:15~10:30 ひびわれ体の圧裂引張り強度について 名古屋大学工学部 ○吉田英生・川本誠夫  
 3-6 10:30~10:45 コンクリートの曲げねじり実験 名古屋大学工学部 島田静雄・野村正徳・南川洋士雄  
 3-7 10:45~11:00 石灰石砕石コンクリートについて 小野田セメント(株)藤原工場 中村 清・東海小野田レミコン(株) ○伊藤安一  
 3-8 11:00~11:15 道路網整備の建設順位に関する研究 首都高速道路道路公園工務部 小栗 良 知  
 3-9 11:15~11:30 踏切のしゃ断による損失時間について 名古屋工業大学 ○高岸節夫・山上俊二  
 3-10 11:30~11:45 名古屋市内における Person Trip の2, 3の特性 岐阜大学工学部 加藤 晃・岡 昭二  
 3-11 11:45~12:00 東海地方における路線貨物輸送の分析 岐阜大学工学部 加藤 晃・岐阜高専 ○水野 弘  
 (13:00~14:00 第1会場にて特別講演)  
 3-12 14:00~14:15 鉄道道床の動的性質について 岐阜高専 渡 辺 卓 郎  
 3-13 14:15~14:30 恵那トンネルの計画について 道路公園名古屋建設局 江 崎 健一郎  
 3-14 14:30~14:45 中京圏における通勤・通学輸送網の改善について 名古屋大学工学部 毛利正光・杉野尚夫・竹内伝史  
 3-15 14:45~15:00 舗装構造に関する研究 名古屋大学工学部 植下 協・岡田久雄・岐阜県土木部 渡辺建蔵・(株)大林組 江坂久義  
 3-16 15:00~15:15 交通信号系統化のシミュレーション 名古屋大学工学部 毛利正光・本多義明・山本秀明  
 3-17 15:15~15:30 交通実測車による交通量調査について 名古屋大学工学部 毛利正光・川西 勲・三星昭宏・本多義明  
 15:30~15:45 休 憩  
 3-18 15:45~16:00 放射環状型と格子型輸送網の比較検討 名古屋大学工学部 河 上 省 吾  
 3-19 16:00~16:15 衣浦連絡路通過貨物量の推定法について 運輸省第五港湾建設局 千葉 善 夫  
 3-20 16:15~16:30 原子力発電所敷地選定に関する土木技術的諸問題 中部電力原子力推進部 富 樫 利 男  
 閉 会 あ い さ つ (第1会場)

工業高校土木科教諭を対称とした夏期講習会テキスト頒布

去る8月2~4日東京にて開催した標記講習会に使用したテキストの残部がありますのでご希望の方は土木学会編集課までお申込み下さい。

山本 稔：平面光弾性実験の理論と実験  
 堀井健一郎：抵抗線ひずみ計によるひずみ計測の原理と実際 } 実費：300円(〒共)

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元町1丁目149番地)  
電話 大阪 (06) 981-2510, 振替口座 大阪 82599 番)

(1) 関西支部年次学術講演会 (昭和 42 年度)

◀ 11 月 12 日 (日) ▶

1. 日 時: 1967 年 11 月 12 日 (日) 9.00~17.50

2. 場 所: 立命館大学理工学部 電話 京都 (075) 46-1131 番 京都市北区等持院北町 28 市バス立命理工前下車

3. 講演題目および講師:

A. 特別講演 (12.55~13.50) 以学館 1 号教室

12.55~13.00 挨拶

土木学会関西支部長 河村 重俊

13.00~13.50 土木的にみた京都の歴史

立命館大学教授文学部 文博 林屋 辰三郎

B. 一般講演 (発表時間 1 題 12 分)

I. 構造力学・構造工学・橋梁工学

第 1 会場 (午前)

9.00~10.00

- ① 組合せ応力を受ける円板の終局強度について 京都大学工学部 工博 小西一郎・○守 国夫
- ② 光弾性ゲージによる応力測定について (スライド使用) 京都大学工学部 工博 丹羽義次・小林昭一・○平島健一
- ③ 鋼桁の横座屈に関する考察 大阪大学工学部 工博 前田 幸雄
- ④ 鉛直等分布荷重を受ける円弧アーチの横倒れ座屈に関する研究 大阪大学工学部 工博 波田凱夫・○崎元達郎
- ⑤ 有限要素法による床板の弾塑性解析 京都大学工学部 工博 小西一郎・○栗本英規
- ⑥ 三径間対称連続桁の塑性解析に関する研究 大阪大学工学部 工博 前田幸雄・○梶川靖治

討 議

10.30~12.00

- ⑦ テーパーのついたアーチの極限強度に関する研究 名古屋工業大学工学部 工博 岡林 稔・○松浦 聖・泉工業(株) ○増味敬一
- ⑧ 連続曲線桁の極限解析 京都大学工業教員養成所 工博 米沢 博・三上市蔵・神戸市立工業高等専門学校 ○嵯峨 晃
- ⑨ 曲線格子桁の極限解析 (横桁多数の場合) 京都大学工業教員養成所 工博 米沢 博・○三上市蔵・神戸市立工業高等専門学校 嵯峨 晃
- ⑩ 曲線桁橋の曲げ振り理論に関する研究 京都大学工学部 工博 小西一郎・工博 白石成人・○神部俊一
- ⑪ 曲線箱桁の実用計算式と斜支承を有する曲線格子桁橋の解析 大阪大学工学部 工博 小松定夫・○林 正
- ⑫ ゲルバー格子桁の解法について 立命館大学理工学部 工博 近 藤 繁 人

討 議

第 1 会場 (午後)

14.05~15.50

- ⑬ 立体ラーメンの静的解析におけるネットワークポロジの応用 京都大学工学部 工博 小西一郎・工博 白石成人・○玉村三郎
- ⑭ 多間高層ラーメンの解法について 大阪工業大学工学部 工博 重 松 憲
- ⑮ プレートガーダーにおける軽量橋梁 (株)東亜設計事務所 山 岡 康 雄
- ⑯ プレートガーダーの最小腹板厚 京都大学工業教員養成所 工博 ○米沢 博・三上市蔵
- ⑰ けた橋構造の横構に関する実験的研究 (静的実験) 神戸大学工学部 工博 西村 昭・阪神高速道路公団 田井戸米好・○橋本良之・三菱重工業(株) 高山弘美
- ⑱ けた橋構造の横構に関する実験的研究 (風洞実験) 阪神高速道路公団 千葉静男・三菱重工業(株) 工博 伊藤敏一・○高井 馨・戸倉 隆
- ⑲ 改良形 Nielsen System 橋 (吊材のゆるみ調整に関する提案) 石川島播磨重工業(株) ○成瀬輝男・遠田良喜

討 議

15.50~17.35

- ⑳ 張出部を持つ三径間連続斜孔あきスラブ橋の実験的研究 (スライド使用) 京都大学工学部 工博 丹羽義次・中央復建コンサルタンツ(株) 熊本隆弘・○辻 康男
- ㉑ 張出部を持つ三径間連続孔あきスラブ橋の実験的研究 (スライド使用) 京都大学工学部 工博 丹羽義次・中央復建コンサルタンツ(株) ○熊本隆弘・辻 康男
- ㉒ 支圧接合用高力ボルトの剪断強度に関する研究 (スライド使用) 京都大学工学部 工博 小西一郎・○竹村勝之
- ㉓ H型鋼桁のモーメント継手に関する実験的研究 大阪大学工学部 工博 前田幸雄・工博 波田凱夫・○藤本一男・富士製鉄(株) 東田信守・内川千彦・今野正喜
- ㉔ 重荷重用格子床版の実験的研究 (第 2 報) 大阪大学工学部 工博 前田幸雄・工博 波田凱夫・○松井繁之・(株)神戸製鋼所 桑原重雄・梶本政良
- ㉕ スタッドジベルが溶接された鋼板の疲労試験およびスタッドジベルの押抜き疲労試験 高田機工(株) ○若林武忠・名古屋大学工学部 沢野邦彦
- ㉖ 鋼桁の特殊架設における二, 三の考察について 阪神高速道路公団 柴田健三・○松田照敏・東京鉄骨橋梁製作所(株) 中沢 康

討 議

第 2 会場 (午前)

9.00~10.30

- ㉗ 片持梁の非定常振動について (スライド使用) 立命館大学理工学部 石 田 修 三
- ㉘ 風による塔構造物の振動に関する実験的研究 (スライド使用) 大阪大学工学部 工博 小松定夫・○小林啓士
- ㉙ 地震応答解析における構造物基礎のモデル化について 京都大学工学部 工博 後藤尚男・土岐憲三・○吉原 進
- ㉚ 円弧型防潮水門の耐震性に関する二, 三の考察 京都大学工学部 工博 後藤尚男・○岡村秀夫
- ㉛ 地盤中の楕円形断面基礎の振動について 京都大学工学部 工博 後藤尚男・土岐憲三・○秋吉 卓
- ㉜ 鋼管橋脚橋梁の振動実験 (スライド使用) 神戸大学工学部 工博 畑中元弘・○西田修治

討 議

10.30~12.00

- ⑳ 半無限弾性板内の Superseismic Wave の伝播について (スライド使用) 京都大学工学部 工博 丹羽義次・○佐藤 誠・久保 晋
- ㉑ 不規則外力による多自由度系の応答について 京都大学工学部 工博 山田善一・○竹宮宏和
- ㉒ 地震記録によるつり橋タワーの動的応答の実験的研究 (スライド使用) 京都大学工学部 工博 山田善一・井汲 久・○辰巳正明
- ㉓ 活荷重に対する連続した橋の動的特性に関する研究 (スライド使用) 京都大学工学部 工博 山田善一・○井汲 久・金沢大学工学部 小堀為雄
- ㉔ 吊橋補剛桁の耐風性に関する考察 京都大学工学部 工博 小西一郎・工博 白石成人・○宇都宮英彦・松本 勝
- ㉕ A-型ゲートの耐風性に関する研究 京都大学工学部 工博 小西一郎・工博 白石成人・宇都宮英彦・○辻 勝成

II. 水理学・水文学・河川工学・港湾工学・海岸工学・衛生工学

第3会場 (午前)  
9.00~10.00

- ① 管路内の固液混相流の水理学的性質について 京都大学工学部 工博 岩佐義明・○花村哲也
- ② 水平床に設置された鉛直水門に作用する流体力について 京都大学工学部 工博 岩佐義明・名合宏之・○堀江 毅
- ③ 鉛直向上噴流内の水粒子混合について 大阪大学工学部 村岡浩爾・○中山茂雄・清水 洋
- ④ 熱線風速計の流水測定への応用 神戸大学工学部 Ph.D. 寛 源亮・○田中 修・和久昭正
- ⑤ 乱流中における固体粒子の Lagrange の運動特性について 京都大学工学部 ○今本博健・井上和也
- ⑥ 曲線流の乱れの特性 京都大学防災研究所 工博 ○村本嘉雄・塩入敏史

討 議

10.30~12.00

- ⑦ 河道配列理論による出水ピークの解析例 京都大学工学部 高柳琢馬・瀬能邦雄・○入江洋樹
- ⑧ 統計的単位図の簡易推算法とその適用 京都大学工学部 工博 石原藤次郎・高柳琢馬・○池淵周一
- ⑨ 低水路流量決定における経済効果の導入について 京都大学工学部 工博 石原藤次郎・○奥田 朗
- ⑩ 貯水池計画におけるシミュレーションについて 京都大学防災研究所 長 尾 正 志
- ⑪ 連鎖状湖の水位算定法 (株)修成建設コンサルタント 大月 達 夫
- ⑫ 貯水池による利水開発量の一算定法 (続) 大阪大学工学部 工博 室田 明・○神田 徹

討 議

第3会場 (午後)

14.05~15.50

- ⑬ 簡易浸漏計の測定結果の補正について 神戸大学工学部 工博 田中 茂・○八東正司夫・建設工学研究所 豊田匡典
- ⑭ 雨水流出試験地における観測について (スライド使用) 京都大学防災研究所 工博 石原安雄・長尾正志・○小葉竹重機
- ⑮ 表六甲諸河川のこう水 (昭和 42 年 7 月豪雨時) について 京都大学防災研究所 福島 晟・○常松芳昭
- ⑯ 局所洗掘 神戸大学工学部 Ph.D. 寛 源亮・○田村 勇
- ⑰ 流砂現象における確率定数の水理特性について 京都大学防災研究所 工博 土屋義人・○道上正規・青山俊樹
- ⑱ 粒子の非定常運動 京都大学防災研究所 工博 土屋義人・○渡戸健介
- ⑲ 土砂を多量に含む流体の粘度と降伏値について 京都大学工業教員養成所 大 同 淳 之

討 議

15.50~17.35

- ㉑ 河川におけるレイノルズ応力の測定 (スライド使用) 京都大学防災研究所 工博 石原安雄・○余越正一郎・京都大学工学部 上野鉄男
- ㉒ 河床変動のスケールとその特性について 京都大学防災研究所 工博 芦田和男・京都大学工学部 奈良井修二
- ㉓ 弯曲水路の河床変動に関する研究 京都大学防災研究所 工博 芦田和男・村本嘉雄・京都大学工学部 ○吉村知司
- ㉔ 透過性構造物の減勢機構に関する二、三の実験 大阪工業大学工学部 久保弘一・○井田保夫
- ㉕ 鋼板セル型岸壁に働く間隙動水圧に関する研究 京都大学工学部 黒田 勝 彦
- ㉖ 地震時動水圧に関する模型実験について 京都大学工学部 尾 島 勝
- ㉗ セル型岸壁に働く地震時土圧 京都大学工学部 工博 長尾義三・○上田 茂

討 議

第4会場 (午後)

14.05~15.50

- ㉚ Hyperbolic Waves の Shoaling 特性について 京都大学防災研究所 工博 岩垣雄一・○酒井哲郎
- ㉛ 大渦海岸における波浪スペクトルの特性について 立命館大学理工学部 柿沼忠男・京都大学防災研究所 ○石田 昭
- ㉜ 波による底面摩擦の遷移領域付近における実験 京都大学防災研究所 工博 岩垣雄一・○陳 活雄
- ㉝ 粗な斜面からの波浪の反射に関する考察 大阪大学工学部 工博 室田 明・○仙波 惇
- ㉞ 傾斜堤の越波機構に関する実験的研究 京都大学防災研究所 工博 岩垣雄一・井上雅夫・京都大学工学部 ○太田隆義
- ㉟ 明石川の河口付近の水位変化について 大阪大学工学部 工博 榎木 亨・○服部征夫
- ㊱ 容量式波高計の問題点とその校正 大阪大学工学部 工博 榎木 亨・○岩田好一郎

討 議

第4会場 (午前)

9.00~10.30

- ㉑ 衝撃的騒音による聴力閾値の一時的移動について (スライド使用) 京都大学工学部 医博 山本剛夫・○徳田純六・米田明彦
- ㉒ 騒音のパターンと一時的聴力損失 (TTS) について (スライド使用) 京都大学工学部 医博 庄司 光・医博 山本剛夫・○高木興一・米田明彦
- ㉓ 新幹線の騒音 (スライド使用) 京都大学工学部 医博 庄司 光・医博 山本剛夫・中村隆一・高木興一・○橋本和平
- ㉔ くい打ちによる地盤および建物の振動 (スライド使用) 神戸大学工学部 工博 加中元弘・○石谷 利
- ㉕ 杭打ちによる地盤振動についての若干の考察 立命館大学理工学部 工博 畠山直隆・大阪産業大学工学部 ○芦生正己
- ㉖ ごみの収集・運搬に関する調査研究 (スライド使用) 京都大学工学部 工博 岩井重久・高月 紘・○馬場耕三

討 議

10.30~11.45

- ㉗ 大気汚染に関する風洞実験第2報—粗度板による乱流境界層— (スライド使用) 京都大学工学部 医博 庄司 光・医博 山本剛夫・八木康雄・石川義紀・○塚谷恒雄
- ㉘ 大気汚染に関する風洞実験第3報—2次元模型による拡散実験— (スライド使用)

京都大学工学部 医博 庄司 光・医博 山本剛夫・○西田 薫・上田玄雄

- ④ 自動車排気による大気汚染の研究—京都、大阪における自動車の走行 mode の比較— (スライド使用)  
京都大学工学部 医博 庄司 光・医博 山本剛夫・西田耕之助・石川義紀・○小松正幹
- ⑤ 液相における亜硫酸ガスの吸収機構について (スライド使用)  
京都大学工学部 医博 山本剛夫・工博 平岡正勝・○武田信生
- ⑥ アナログコンピュータによる河川汚濁解析 (大和川を例として) (スライド使用) 京都大学工学部 工博 岩井重久・Ph.D. 井上頼輝・○松井三郎

討 議

第4会場 (午後)  
15.50~17.50

- ⑦ 多孔性媒質中におけるイオンの拡散と拡散係数の決定法  
京都大学工学部 工博 岩井重久・○寺島 泰
- ⑧ 活性炭のろ過性能に関する一実験的研究 (スライド使用)  
立命館大学理工学部 工博 巽 巖・○村岡 治
- ⑨ 浄水施設の限界効用の研究  
京都大学工学部 工博 末石富太郎・○和田安彦
- ⑩ 下水の3次処理に関する予備的研究 (泡沫分離法)  
京都大学工学部 工博 合田 健・宗宮 功・○福永 稔
- ⑪ コミュニティプラントの汚水処理について  
京都大学工学部 工博 合田 健・○中西 弘
- ⑫ パイロットプラントによる下水処理実験  
京都大学工学部 工博 合田 健・宗宮 功
- ⑬ 活性汚泥法における汚泥生物の浄化機能に及ぼす窒素の影響 (スライド使用)  
京都大学工学部 工博 岩井重久・北尾高嶺・○後神輝美
- ⑭ 活性汚泥の Activity に関する一考察  
京都大学工学部 工博 高松武一郎・内藤正明・○池田有光

### III. 土質力学・土質工学・基礎工学・土木機械・施工

第5会場 (午前)  
9.00~10.30

- ① ベーン試験に関する二、三の考察  
京都大学工学部 工博 柴田 徹・○田河勝一
- ② 粘性土の排水クリープ試験  
京都大学防災研究所 軽 部 大 蔵
- ③ 粘土のせん断時の間隙水圧に関する一考察  
京都大学工学部 工博 嶋 昭治郎・○太田秀樹
- ④ 粘性土の洗掘に関する土質力学的考察  
京都大学工学部 工博 松尾新一郎・○木暮敏二
- ⑤ 砂柱を打設した粘土地盤の支持力に関する研究  
京都大学工学部 松尾 稔・○寺村昌忠・国土総合開発(株) 稲田直治
- ⑥ 成層岩盤の斜面崩壊に関する一模型実験 (スライド使用)  
京都大学防災研究所 工博 村山朔郎・○石井義明

討 議

10.30~2.00

- ⑦ 不連形体の力学的挙動に対する解析  
京都大学工学部 ○山本和夫・有岡正樹
- ⑧ マサ土の風化度と工学的性質について  
京都大学工学部 工博 松尾新一郎・○西田一彦
- ⑨ 細管網モデルによる非定常浸透流の実験  
京都大学工学部 工博 松尾新一郎・○河野伊一郎
- ⑩ リグレン系材料による土質安定の実験—特に分散効果について  
京都大学工学部 工博 松尾新一郎・○宋 永焜
- ⑪ 金属摩耗に対する砂の粒度の影響  
京都大学工学部 工博 嶋 昭治郎・○室 達明
- ⑫ 回転掘削機構について (第2報)  
京都大学工学部 工博 嶋 昭治郎・○伊藤典生

討 議

第5会場 (午後)  
14.05~15.50

- ⑬ 粘土の振動荷重強度について  
京都大学工学部 八木則男・○行友 浩
- ⑭ 繰返し荷重を受ける粘性路床土の二、三の動的性質について  
神戸大学工学部 工博 谷本喜一・M.S. 西 勝・○谷口 功
- ⑮ 飽和粘土内の応力波伝播に関する実験的研究 (スライド使用)  
京都大学工学部 工博 赤井浩一・○徳田肇夫
- ⑯ 砂の流動化の二、三の特性  
神戸大学工学部 工博 谷本喜一・○大沢栄興
- ⑰ 砂の低圧振動試験  
立命館大学理工学部 工博 畠山直隆・○大村光俊
- ⑱ セル内壁に働く振動土圧、間隙水圧に関する模型実験 (スライド使用)  
神戸大学工学部 工博 畑中元弘・○白井義朗・菅原泰彦
- ⑲ 京都市内の自然微動について  
立命館大学理工学部 工博 畠山直隆・○小出忠男

討 議

15.50~17.50

- ⑳ ネガティブフリクションの計算法に関する一試案  
大阪大学工学部 ○松井 保・竹本雅俊
- ㉑ 節杭の支持機構について  
武智工務所 ○藪内貞男・大阪大学工学部 石川達彦
- ㉒ 杭先端閉鎖と開放の比較について  
京都大学工学部 工博 後藤尚男・○勝見 雅
- ㉓ トンネル土圧の発生機構について (スライド使用)  
京都大学防災研究所 工博 村山朔郎・○松岡 元
- ㉔ 岩盤内の円形トンネルの安定性について  
神戸大学工学部 工博 桜 井 春 輔
- ㉕ トンネル施工における運搬系に関する研究  
京都大学工学部 工博 嶋 昭治郎・○田中軍治
- ㉖ 軟弱地盤における地下鉄シールド施工例について  
大阪市交通局 三輪利英・○江川勝彦・大成建設(株) 瀧淵桃三
- ㉗ 本州四国連絡橋岩盤定着実験  
日本鉄道建設公団大阪支社 谷 健史・大町武司

討 議

### IV. 交通工学・土木計画学・測量・コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学・土木材料

第6会場 (午前)  
9.00~10.30

- ① 流通過程の合理化に関する一考察  
京都大学工学部 工博 米谷栄二・○宮下 武
- ② ネットワークの容量に関する考察  
大阪市立大学工学部 西村 昂・○中村正治
- ③ 変換ネットワークに関する一考察  
大阪市立大学工学部 西村 昂
- ④ 都市高速道路網における交通制御に関する考察  
京都大学工学部 工博 佐佐木桐・○泉 保佑
- ⑤ 道路網の構成に関する基礎的考察  
京都大学工学部 前 島 忠 文
- ⑥ 交差点中心にみた交通量配分について  
京都大学工学部 ○明神 証・大阪市総合計画局 橋本 固・島内OR作業室 島内三郎

討 議

10.30~11.45

- ⑦ 駐車需要推定に関する考察  
京都大学工学部 木 村 俊 夫

- ⑧ 横断歩道橋設置のための交通量調査について
- ⑨ ガードフェンス実物実験結果の解析
- ⑩ 高速道路中央分離帯事故の解析
- ⑪ 総待ち時間最小からみた面制御

東亜設計事務所 山岡歳雄・○門脇正躬  
 神戸大学工学部 枝村俊郎・○山本俊夫  
 神戸大学工学部 枝村俊郎・○久井 守  
 京都大学工学部 工博 米谷崇二・○奥谷 巖

討 議

第2会場 (午後)  
 14.05~15.50

- ⑫ 買物交通特性に関する研究
- ⑬ 会場内の流動に関する確率論的考察
- ⑭ 外貨雑貨における PDC 分析に関する一考察
- ⑮ 物資流動構造からみた産業配置に関する一考察
- ⑯ 交通施設整備の地域経済効果に関する研究 (統報)
- ⑰ 旅客ターミナルの機能に関する一考察
- ⑱ トラックターミナルの配置と規模決定に関する一考察

京都大学工学部 松 井 寛  
 京都大学工学部 ○坂田恭敬・今坂一郎  
 京都大学工学部 工博 長尾義三・○金井万造  
 京都大学工学部 工博 長尾義三・○森杉寿芳  
 京都大学工学部 工博 天野光三・○藤田昌久  
 京都大学工学部 工博 天野光三・○青山吉隆  
 京都大学工学部 工博 吉川和宏・○桂田俊貞

討 議

15.50~17.05

- ⑲ 住宅立地に関する選定要因分析について
- ⑳ 統計的決定理論による航空需要予測に関する一考察
- ㉑ シミュレーションによる空域圏における航空機の動態の解析
- ㉒ 試作した写真経緯儀による近接写真測量 (スライド使用)
- ㉓ 小区域におけるかなり精密な三角測量について (スライド使用)

京都大学工学部 工博 天野光三・○村藤正武  
 京都大学工学部 工博 吉川和広・○木俣 昇  
 京都大学工学部 工博 吉川和広・○大島康宏  
 京都大学工学部 工博 ○森 忠次・端 栄三郎・神戸市 赤羽嘉紀  
 京都大学工学部 ○星 仰・岡本 厚

討 議

第6会場 (午後)  
 14.05~15.50

- ㉔ コンクリートパイルの打撃応力について
- ㉕ 衝撃荷重時におけるコンクリートの応力波形について (スライド使用)
- ㉖ 引張および曲げ衝撃荷重時のコンクリートの諸性質について (スライド使用)
- ㉗ プレパックド コンクリートの施工実験と実験体取壊しによる内部観察について (第2報)
- ㉘ P C定着長決定法に関する一考察 (スライド使用)
- ㉙ P C定着部の割裂補強に関する一考察 (スライド使用)
- ㉚ タイロッドを用いたコンクリート擁壁に関する実験報告

京都大学工学部 工博 岡田 清・吉竹孝之・大阪府立工業専門学校 ○久良喜代彦  
 立命館大学理工学部 工博 明石外世樹・○竹内正吾  
 立命館大学理工学部 工博 明石外世樹・○上田欽也  
 日本鉄道建設公団 桜井紀明・藤山三郎・○谷 健史  
 神戸大学工学部 藤井 学  
 神戸大学工学部 藤井 学・○梶村雄佑  
 神戸製鋼所 三谷哲夫・小川 光

討 議

15.50~17.50

- ㉛ 最近のセメント防水剤について
- ㉜ コンクリートの分離測定法に関する実験 (スライド使用)
- ㉝ 早期強度判定に関する一実験
- ㉞ コンクリートのオートクレープ養生に関する基礎実験
- ㉟ コンクリートの品質の統計的検査方法に対する考察
- ㊱ モルタル曲げ供試体における notch 先端よりの微小クラックについて (スライド使用)
- ㊲ モルタルコンクリートの圧縮破壊条件の比較
- ㊳ 細骨材の粒度とアスファルト混合物のマッシュル試験値との関係 (スライド使用)

大阪市立大学工学部 工博 久保直志・○佐伯康二  
 立命館大学理工学部 西 本 安 範  
 大阪市立大学工学部 工博 久保直志・○森野奎二・大西良亮  
 大阪市立大学工学部 工博 久保直志・○藤田昌宏・篠田博民  
 大阪市立大学工学部 工博 水野俊一・修成建設専門学校 ○井沢明義  
 京都大学工学部 工博 丹羽義次・小林昭一・小柳 治・○中川浩二  
 京都大学工学部 工博 丹羽義次・○小林昭一・小柳 治  
 立命館大学理工学部 工博 吉本 彰・○荻野正嗣

4. 講演概要頒布: 論文抄録集 (B5版・オフセット印刷) をつぎのとおり頒布いたします (ただし500部限り申込先着順)。  
 正会員 200 円, 学生会員 100 円, 非会員 300 円, 講演者 (○印) 無料, テキスト前送希望者は送料 100 円を  
 ご送付下さい。

5. 聴 講: 無料, 来聴歓迎  
 6. 申 込 方 法: 講演概要希望者は 10 月 23 日 (月) までに勤務先, 連絡先, 会員の種別, 氏名および講演会に出欠を明記 (様式  
 随意) のうえ上記講演概要代金および送料 (前送希望者のみ) を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

(2) 兵庫地方講演会

◀ 11 月 7 日 (火) ▶

共催: 土木学会関西支部・兵庫県建設技術協会

- 1. 期 日: 1997 年 11 月 7 日 (火)
- 2. 場 所: 城崎町公会堂 電話 (城崎局) 2711  
 兵庫県城崎郡城崎町 国鉄城崎駅下車西北約 800 m 城崎町役場内

3. 題目と講師:

- 10.30~10.35 開会挨拶 土木学会関西支部長 河 村 重 俊
- 10.35~11.15 ① 道路交通計画, とくに兵庫県道路経済調査について 京都大学教授 工博 佐佐木 綱
- 11.15~11.55 ② 土木構造物の振動と安全性, とくに港大橋の下部構について 神戸大学教授 工博 畑 中 元 弘
- 13.00~13.40 ③ 円山川の改修計画について 近畿地建畫岡工事事務所長 荻 野 仁
- 13.40~14.20 ④ 土質工学上の問題点 大阪大学教授 工博 伊 藤 富 雄
- 映画: 14.25~14.45 村岡地すべり対策工事について 16ミリカラー 20 分

見学：14.50～15.40 港 大 橋  
閉 会 換 拶

兵庫県建設技術協会長 秋 月 英 夫

4. 定 員：120 名

5. 聴 講：無料，来聴歓迎

6. そ の 他：参考列車ダイヤ

(往) 綾 部 7.30 発—福知山 7.59—和田山 8.50—豊 岡 9.43—城 崎 9.59 着  
舞 鶴 6.43 発—宮 津 7.33—豊 岡 9.06 着<sup>↑</sup>  
鳥 取 7.53 発—浜 坂 8.48—城 崎 10.00 着  
(復) 豊 岡 16.34 発—和田山 17.17—福知山 18.16 着，18.45 発—綾部 19.12 着  
豊 岡 17.45 発—宮 津 19.51—舞 鶴 20.30 着  
城 崎 16.03 発—浜 坂 17.32—鳥 取 18.43 着

(3) 写真測量とその応用に関する講習会

◀ 12 月 5 日 (火)～6 日 (水) ▶

主催：土木学会関西支部・協賛：日本写真測量学会

戦後わが国で写真測量が大規模に採用され、以来その進歩は著しく、建設省国土地理院をはじめ民間会社における空中写真測量の作業量は膨大なものがあります。

一方土木工学関係者は大量の写真測量を発注し、かつ連日その成果を利用しているのみならず、空中写真を利用して各種調査資料を得ている分野も増加して参りました。

この時期において写真測量の原理上の要点と現状の説明、発注者として考慮すべき点の指摘、さらに広範な応用面を有することおよびその中の身近な実例の解説などを行なっていただくために企画したものです。

研究者、計画・設計・施工担当者、学生のいずれに対しても有益と考えますのでふるってご参加下さい。

記

1. 期 日：1967 年 12 月 5 日 (火)，6 日 (水) の両日

2. 場 所：大阪科学技術センター 8 階大ホール 電話 大阪 (06) 433—5321

大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 (地下鉄 3 号線信濃橋下車北へ 150 m 靱公園北東角)

3. 題目と講師：

第 1 日 (12 月 5 日)

開 会 の 換 拶  
9.30～11.20 ① 写真測量の基礎  
11.30～12.30 ② 写真測量の工学計測への応用  
13.30～15.20 ③ 写真測量の仕様と検査  
15.30～16.30 ④ 空中写真による陸上および海上交通調査

土木学会関西支部長 河 村 重 俊  
京都大学助教授工学部 工博 森 忠 次  
東京大学生産技術研究所 大 島 太 市  
建設省国土地理院技術管理官 尾 崎 幸 男  
防衛大学校助教授 工博 高 田 弘

第 2 日 (12 月 6 日)

9.30～10.30 ⑤ 空中写真判読の概要  
10.40～11.30 ⑥ 空中写真の防災調査への利用  
11.40～12.30 ⑦ 空中写真の山陽新幹線計画への利用  
13.30～14.20 ⑧ 空中写真の水力発電計画への利用  
14.40～15.30 ⑨—A 映 画

東京都立大学教授理学部 理博 中 野 尊 正  
京都大学教授防災研究所 理博 奥 田 節 夫  
国鉄山陽新幹線工事局次長 吉 村 恒  
関西電力(株)喜瀬山水力発電所建設所 吉 村 清 宏

(a) 光の科学 (Seeing is understanding) 16ミリ カラー 20 分  
(b) 写真測量 (Photogrammetry) 16ミリ カラー 20 分

15.30～17.00 ⑨—B 写真測量作業所見学 (映画はみられません)

第 1 班：国際航業(株)大阪支店宝塚作業所 定員 40 名

宝塚市小林字谷口 100 電話 宝塚 (0797) 86—6461 番 阪急電車今津線小林下車徒歩 5 分

第 2 班：日本国内航空(株)航測所 定員 40 名

藤井寺市岡 電話 阪南 (0729) 55—4185 近鉄電車南大阪線藤井寺下車徒歩 3 分 野球場東側

開 会 の 換 拶

土木学会関西支部幹事長 伊 藤 富 雄

4. 定 員：300 名 (先着順)

5. 参 加 費：主催，協賛学会 会員 1000 円 (テキスト代を含む)

ただし講習会当日は 1500 円となりますので、期限内に前納して下さい。

非会員 1500 円 (テキスト代を含む)

6. 申 込 期 限：1967 年 11 月 20 日 (月)

7. 申 込 方 法：参加希望者は勤務先，連絡先，氏名，会員の種別 (所属学会名) および写真測量作業所見学希望者は希望班名 (1 班または 2 班) を明記 (様式随意) して上記参加費を添えて 11 月 20 日 (月) までに土木学会関西支部へお申し

込み下さい。

参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。参加証のない人は入場をお断りします。ただし見学については同一勤務先より1名とし、先着順で選定いたします。また見学の交通費は参加者自己負担といたします。

(注) 都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

#### (4) 若い会員懇親パーティ (第2回)

◀ 12月5日(火) ▶

若い会員相互の親睦をはかりたいと存じますので、多数ご参加のうえ自由な発言をお待ち申し上げます。

1. 日 時: 1967年12月5日(火) 17時よりの予定(写真測量講習会第1日終了後)
2. 場 所: 大阪科学技術センター8階小ホール 電話 大阪(06)443-5321  
大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m 靱公園北東角)
3. 参加者資格: 35歳未満の土木学会会員
4. 定 員: 50名(先着順)
5. 参加費: 無 料
6. 申込期限: 1967年11月20日(月)
7. 申込方法: 参加希望者は勤務先、連絡先、および氏名を明記(様式随意)して11月20日(月)までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

#### (5) 学生映画会

##### 1. 上映映画:

地震と建築(16ミリ 白黒 20分)、震害(16ミリ 白黒 25分)、地震と闘う(英語版)(16ミリ カラー 20分)、地震予知への道(16ミリ カラー 27分)

##### 2. 日時および場所:

1967年11月17日(金)	14時40分	立命館大学理工学部6号館3階67号教室
" 18日(土)	13時	京都大学土木総合館
" 20日(月)	時間未定	大阪大学土木工学教室
" 21日(火)	16時30分	大阪工業大学旧本館4階第2講堂
" 22日(水)	17時	大阪市立大学土木工学教室
" 24日(金)	14時	近畿大学19号館2教室
" 25日(土)	13時	神戸大学工学部307号教室

##### 3. 参加費: 無料, 正会員の方の参加も歓迎します。

#### (6) 第2回学生見学会(喜撰山水力発電所建設工事見学会)

◀ 11月30日(木) ▶

1. 期 日: 1967年11月30日(木)
2. 見 学 先: 関西電力(株)喜撰山水力発電所建設工事
3. 参加者資格: 土木学会学生会員  
ただし申込期限までに入会手続のすんだものおよび大学院学生の正会員も有効
4. 集 合: 11月30日13時までに神戸大学土木教室
5. 行 程: 13時00分神戸大発——14.30 喜撰山水力発電所建設工事見学 17.00 発——18.30 阪急六甲着解散
6. 参加費: 100円
7. 定 員: 50名
8. 申込期限: 1967年11月15日(水)
9. 申込要領: 参加希望者は学校名および氏名を明記し、参加費100円を添えて各学校の学生班長を経由のうえ11月15日(水)までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。  
申込期限内に定員を超過した時は学校別に人員の割当てをいたしますからお含みおき下さい。  
学生班長は申込先順位番号を付して一括申し込んで下さい。



(7) コンクリート工用樹脂に関する講習会

◀ 11月14日(火) ▶

共催：日本材料学会関西支部・土木学会関西支部・日本建築学会近畿支部・高分子学会関西支部

協賛：大阪建設業協会・大阪府建築士会・日本建築協会・コンクリート研究会・日本接着協会

1. 日 時：1967年11月14日(火) 9.30~16.40

2. 場 所：大阪科学技術センター8階大ホール 電話 大阪(06)443-5321 番

大阪市西区靱1丁目118番地(地下鉄3号線信濃橋下車北へ150m 靱公園北東角)

3. 題目と講師：

9.30~10.30	① コンクリート工用樹脂とその接着理論	阪市大工 井 本 稔
10.30~11.20	② エマルジョン系樹脂について	(株)竹中工務店 久保田 浩典
11.20~12.00	③ エマルジョン系樹脂の各種施工例	日本材料学会 岡 本 伸一
12.00~12.20	質疑 応 答	司会 京大工 西 林 新 蔵
13.20~14.00	④ 接着用樹脂の建築物における施工例	大成建設(株) 鶴 田 康 彦
14.00~14.40	⑤ 接着用樹脂のシールドにおける施工例	大阪市交通局 川 口 大 仁
14.40~15.40	⑥ 日本材料学会コンクリート工用接着剤(エポキシ樹脂)試験法(案)および施工指針(案)について	
15.40~16.00	質疑 応 答	日本材料学会 西 林 新 蔵
16.00~16.40	⑦ RILEM 接着剤 Symposium について	司会 京大工 六 車 熙 清
		京大工 岡 田 清

4. 定 員：300名

5. 参加会費：共催・協賛学会会員1200円、非会員1500円(共にテキスト1部を含む)

テキスト：1部500円、テキストのみご希望の方は送料100円を添えてお申込み下さい。

6. 申込期限：1967年11月7日(火)

7. 申込方法：参加希望者は勤務先、連絡先、氏名および会員種別(所属学会名)を明記して上記参加会費を添えて(現金書留利用)11月7日(火)までに下記へお申込み下さい。参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。参加会費の払戻しはいたしません。

申 込 先 大阪市西区靱1丁目(大阪科学技術センター6階) 日本材料学会関西支部 TEL 大阪(441)5531 代表

(注) 都合により講師の順序に変更があるかも知れませんのでご了承下さい。

(付) テキスト頒布について

土木工学における動的現象の計測とデータ処理	頒価 700円	送料 80円
水理学・水文学における最近の進歩	〃 1000円	〃 100円
道路・交通工学における最近の諸問題	〃 500円	〃 60円
プレストレストコンクリート最近の進歩	〃 800円	〃 80円
土木構造物の振動と安全性	〃 1000円	〃 80円
シールド工法	〃 700円	〃 80円
土質改良工法	〃 600円	〃 60円
建設工事と高分子材料	〃 200円	〃 60円
構造工学	〃 700円	〃 80円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部(振替口座利用)へお申込み下さい。

中国四国支部行事案内 (広島市八丁堀 6-30 建設省中国地方建設局企画室内)  
電 広島 21-9231 内線 501

昭和 42 年度土木学会中国四国支部総会、年次学術講習会および特別講演会

1. 中国四国支部総会

◀ 11月22日(水) 9.00~ ▶

1. 日 時：1967年11月22日(水) 9.00~9.20

2. 場 所：岡山県庁9階大ホール

2. 年次学術講演会

◀ 11月21日(火) 9.00~ ▶

1. 日 時：1967年11月21日(火) 9.00~17.00

2. 場 所：岡山市古京町 282 三光荘

3. 講演題数：未 定

3. 特別講演会 (土質工学会中国支部共催)

◀ 11 月 22 日 (水) 9.40~ ▶

1. 日 時：1967 年 11 月 22 日 (水) 9.40~17.30

2. 場 所：岡山県庁 9 階大ホール

3. 題目および講師：

番号	時間	題 目	講 師
①	9.40~10.20	岡山県の土木行政について	岡山県土木部土木部長 高 橋 光
②	10.25~12.00	洪水予報調節に関する諸問題について	京都大学防災研究所教授 石 原 安 雄
③	13.00~14.30	水島地区における鋼杭の実験について	建設省建築研究所鋼杭研究部長 大 崎 順 彦
④	14.35~16.00	最近におけるコンクリートの諸問題	国鉄鉄道技術研究所 樋 口 芳 朗
⑤	16.00~17.30	花崗岩地帯の山くずれと崩壊予知	神戸大学工学部教授 田 中 茂

4. 参 加 料：未定 (テキスト代を含む)

5. 見 学：見学は都合により取やめといたしました。

## 国際会議のお知らせ

### (1) Eleventh Conference on Coastal Engineering

第 11 回海岸工学会議は 1968 年 9 月 16~20 日の間、London 市のイギリス土木学会 (Institution of Civil Engineers) 会議室において開催される予定です。この会議はイギリス土木学会、Wallingford の水理研究所 (Hydraulics Research Station)、アメリカ土木学会海岸工学研究評議会 (ASCE Coastal Engineering Research Council) の共催となります。論文発表を予定される方は、1 ページの論文要旨 (英語または仏語) 4 部を 12 月末までに下記に直接郵送して下さい。また国内での参考資料としますので、さらに 1 部を土木学会海岸工学委員会宛郵送して下さい。

Professor J.W. Johnson  
 Secretary, ASCE Coastal Engineering Research Council  
 412 Hesse Hall, University of California  
 Berkeley, California 94720, U.S.A.

### (2) First World Congress of Engineers and Architects in Israel

主 催：Association of Engineers and Architects in Israel

期 日：1967 年 12 月 19 日~12 月 23 日

場 所：Israel

主 題：1. Housing and Architecture : Comprehensive planning and development, housing and building, architectural design.

2. Water Development and Irrigation in arid Countries : Comprehensive development of water resources, water resources management and control of water utilization, the challenge of irrigation development under conditions of scarcity.

3. Industrial Development : Problems of Israel's industrialization, industrial exploitation of natural resources in Israel, science based industries.

連絡先：Association of Engineers and Architects in Israel 200, Dizengoff Street, Tel Aviv, Israel